

シーカデュア®42 F☆☆☆☆ ノンホルムアルデヒド

エポキシ系 補修用グラウトモルタル

概要 シーカデュア®42は、流動性に優れた、無溶剤、3成分形タイプの充てん用および補修用グラウトモルタルです。間隙や空隙への充てん、補修、およびアンカーボルトのグラウトなどに適した材料です。

用途

- 間隙や空隙への充てん・補修
コンクリート、モルタル、石材、スチール、木材などの空隙部の充てん
- グラウト
アンカーボルト、機械基礎、ガードレール、配管などの固定

特長

- 流動性に優れています。
- 低温下や高湿度下でも硬化します。
- 圧縮強度、曲げ強度が優れています。
- 耐摩耗、耐衝撃性に優れています。
- 揮発成分を含まない無溶剤タイプです。

製品規格値

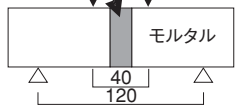
試験項目	試験方法	条件	規格値	
			標準形	遅延形
粘度 A B A+B	JIS K 6833	常温	2,250±750mPa・s	2,500±500mPa・s
			40± 20mPa・s	250± 50mPa・s
			400±100mPa・s	800±100mPa・s
密度 A B C A+B+C	JIS K 6833	20℃	1.13±0.05 g/cm ³	1.13±0.05 g/cm ³
	JIS K 6833		1.00±0.05 g/cm ³	1.00±0.05 g/cm ³
	JIS Z 8807		1.85±0.05 g/cm ³	1.85±0.05 g/cm ³
	JIS K 6833		2.00±0.05 g/cm ³	2.00±0.05 g/cm ³
可使時間	温度上昇法	20℃・5kg	45±10分	60±10分
圧縮強さ	JIS K 7208-1995	20℃・7日	65N/mm ² 以上	65N/mm ² 以上
硬 度	JIS K 7215	20℃・7日	85HDD以上	85HDD以上



技術資料

主成分	A成分(主剤) : エポキシ樹脂 B成分(硬化剤) : 変性脂肪族ポリアミン C成分(骨材) : 珪砂、無機顔料		
外観	A成分(主剤) : 淡黄色透明液状 B成分(硬化剤) : 褐色透明液状 C成分(骨材) : グレー色砂状 A+B+C混合物 : コンクリートグレー色流動モルタル状		
混合比	A成分 : B成分 : C成分 = 2 : 1 : 12 (重量比)		
施工温度	5℃～40℃		
可使用時間	温度上昇法 (試験材料5kg)	標準形	遅延形
		30℃ 25分 20℃ 45分 10℃ 90分 5℃ 150分	35℃ 20分 20℃ 60分
保存期間	未開封で12カ月		
荷姿	15kgセット/箱	A成分(主剤) : 2kg/缶 B成分(硬化剤) : 1kg/缶 C成分(骨材) : 12kg/袋	
標準使用量	15kgセットあたりの充てん量 : 約7.5リットル (0.0075m ³)		

性状・性能

	条件	標準形	遅延形
密度 (g/cm ³) 混合物	20℃	2.0±0.1	2.0±0.1
圧縮強さ (N/mm ²) JIS K 7208-1995	5℃ 20℃ 1日 3日 7日	8 54 38 68 70 75	20℃ 35℃ 38 70 66 73 74 75
圧縮弾性係数 (N/mm ²) JIS K 7208-1995	20℃・7日	約6×10 ³	約6×10 ³
曲げ強さ (N/mm ²) JIS K 7203-1995	20℃・7日	35	36
接着強さ (N/mm ²) 建研式引張試験 ※コンクリート平板にアタッチメントを貼付けた後、引張試験	20℃・7日	2.7 (コンクリート破断)	2.8 (コンクリート破断)
曲げ接着強さ (N/mm ²) JIS R 5201 ※4×4×8cmモルタル試験片の間隙(厚さ10mm)にシーカデュア®42を充てん後、曲げ試験	20℃・7日	10.0 (モルタル材破断)	シーカデュア®42(プライマー使用) 
熱膨張係数 JIS K 6911	20～60℃	約5×10 ⁻⁵	約5×10 ⁻⁵

施工方法	
下地処理	<ul style="list-style-type: none"> • 施工面に汚れ、レイタンス、油脂分、塗料などが付着している場合は、ワイヤブラシ、サンドブラストなどを使用し、除去して下さい。
混合	<ul style="list-style-type: none"> • A成分の中にB成分を全量入れ、ハンドミキサー（max500rpm程度の低速タイプ）を使用し、空気が混入しないように3分以上混合して下さい。次に、ペール缶の中に混合物を入れ、C成分を入れた後、ハンドミキサーなどを使用し、空気が混入しないように均一なグレー色になるまで3分以上混合して下さい。 • 使用量が比較的少ない場合は、A成分、B成分、C成分を2:1:12（重量比）の比率で計量した後、まずA成分とB成分のみを十分に混合して下さい。次にC成分を入れ、十分に混合して下さい。 • 一度に混合する量は、可使時間内に使いきれぬ量にして下さい。
施工	<p>充てん用の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> • 混合したシーカデュア®42を必要部位に充てんした後、表面をコテやヘラなどでならして下さい。 <p>補修用の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> • 隙間がないように型枠などを組んだ後、混合したシーカデュア®42を充てんし、表面をコテやヘラなどでならして下さい。
養生	<ul style="list-style-type: none"> • 施工後24時間以上の養生が必要です。養生期間中は衝撃や振動を与えないように注意して下さい。なお養生温度が低い場合（5℃程度）には、3日間程度の養生日数を確保して下さい。
洗浄	<ul style="list-style-type: none"> • 施工後、使用した工具は、硬化する前にラッカーシンナーで洗浄して下さい。（洗浄中、溶剤の蒸気を吸引しないように注意して下さい。）
重要事項	<ul style="list-style-type: none"> • 高温時は、可使時間が短くなります。夏期に施工する場合は、材料温度が上がらないように、室内の冷暗所に置くなどの処置を行って下さい。40℃以上で施工する時は、当社にご相談下さい。 • 低温時は、材料の粘度が上昇し作業性が低下するとともに、硬化が遅れます。原則として5℃以上の環境で使用して下さい。

注意

取扱い

A成分：刺激性の成分としてエポキシ樹脂を含み、長時間あるいは繰返しの接触により皮膚刺激を起こすことがあります。また、目を刺激することがあります。高濃度の蒸気は呼吸障害を起こす恐れがあります。皮膚との接触を避け、適当な換気条件の元で蒸気を吸わないように使用して下さい。保護メガネ、安全マスクおよび耐化学薬品手袋などを使用して下さい。また取扱い作業を開始する前に、腕や手などに保護クリームを塗ることをお勧めします。

B成分：刺激性の成分としてアミンを含んでいます。目あるいは皮膚を刺激します。高濃度の蒸気は呼吸障害を起こす恐れがあります。適当な換気条件の元で蒸気を吸わないように使用して下さい。保護メガネ、安全マスクおよび耐化学薬品手袋などを使用して下さい。B成分の付着した衣類は着替えて下さい。また取扱い作業を開始する前に、腕や手などに保護クリームを塗ることをお勧めします。

詳細は製品安全データシートを参照して下さい。

救急法

皮膚に付着した場合はすぐに拭取り、石鹼を使用し、水で十分に洗って下さい。痛みや外観に変化がある場合には、速やかに医師の診断を受けて下さい。目に入った場合には、直ちに多量の水で洗い、必要に応じて医師の処置を受けて下さい。蒸気を吸入して気分が悪くなった場合は、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。

保管

A成分：火気、湿気、水を避け、室内の直射日光の当たらない場所に保管して下さい。
B成分：毒物及び劇物取締法（劇物 イソホロンジアミン含有）に従い施錠して保管して下さい。保管中に分離が生じた場合は、使用前によく攪拌して下さい。

廃棄

使用後の材料・容器は、A成分とB成分を混合し硬化を確認した後、法規に従って廃棄して下さい。

消防法による
危険物分類

第4類 第3石油類 火気厳禁 危険等級Ⅲ

シーカ製品の適用および使用に関する情報および勧告は、当社の最新の知識および経験に従っているものであり、通常の条件下で適切に保管、処理および適用されることを前提としております。実際には材料、配合および現場の条件がそれぞれ異なるため、ここに記載されている情報、書面での勧告、その他のアドバイスは、商品性や特定目的への適合性について保証するものではなく、また、法的関係から生ずる責任をもたらずのものでもありません。ユーザーは、シーカ製品がユーザーの使用目的および施工方法に適しているかをあらかじめ確認して下さい。当社は、製品の特性を変更する権利を留保します。第三者の権利は尊重されなければなりません。すべての注文は、当社の最新の販売・納品条件に従って受注されます。ユーザーは常に使用する製品のプロダクトデータシートの最新版に留意して下さい。プロダクトデータシートの最新版はご請求いただければ当社が提供いたします。著作権法により無断複製複製及び無断転載は禁止されています。



日本シーカ株式会社
化成営業開発本部
〒254-0021 神奈川県平塚市長瀬1-1
TEL 0463-23-1301 FAX 0463-21-1316
<http://www.sika-japan.co.jp/>



認証取得：平塚・小野・新南陽